

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年3月16日(2006.3.16)

【公表番号】特表2005-526152(P2005-526152A)

【公表日】平成17年9月2日(2005.9.2)

【年通号数】公開・登録公報2005-034

【出願番号】特願2003-564157(P2003-564157)

【国際特許分類】

**C 0 9 K 11/06 (2006.01)**

**C 0 7 D 487/04 (2006.01)**

**C 0 8 K 5/3415 (2006.01)**

**C 0 8 L 101/00 (2006.01)**

**H 0 1 L 51/50 (2006.01)**

【F I】

C 0 9 K 11/06 6 5 0

C 0 7 D 487/04 1 3 7

C 0 8 K 5/3415

C 0 8 L 101/00

H 0 5 B 33/14 B

【手続補正書】

【提出日】平成18年1月27日(2006.1.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 1】

を意味し、ここで $R_6'$ 及び $R_7'$ は、互いに独立して、水素、 $C_1 \sim C_6$ アルキル、 $-NR_8'$ 、 $R_9'$ 、 $-OR_{10}'$ 、 $-S(O)_nR_8'$ 、 $-Se(O)_nR_8'$ 、又はフェニル( $C_1 \sim C_8$ アルキル又は $C_1 \sim C_8$ アルコキシで1~3回置換されていてよい)を意味し、ただし同時には水素を意味せず、ここで $R_8'$ 及び $R_9'$ は、互いに独立して、水素、 $C_1 \sim C_2$ アルキル、 $C_5 \sim C_{12}$ シクロアルキル、 $-CR_3'R_4'-(CH_2)_m'-Ph$ 、 $R_{10}'$ を意味し、ここで $R_{10}'$ は、 $C_6 \sim C_{24}$ アリール、又は飽和若しくは不飽和の環原子5~7個を含む複素環式基(この環は、炭素原子並びに窒素、酸素及び硫黄からなる群より選択されるヘテロ原子1~3個からなる)を意味し、ここで $Ph$ 、アリール基及び複素環式基は、 $C_1 \sim C_8$ アルキル、 $C_1 \sim C_8$ アルコキシ、又はハロゲンで1~3回置換されていてよく、あるいは $R_8'$ 及び $R_9'$ は、 $-C(O)R_{11}'$ を意味し、ここで $R_{11}'$ は、 $C_1 \sim C_{25}$ アルキル、 $C_5 \sim C_{12}$ シクロアルキル、 $R_{10}'$ 、 $-OR_{12}'$ 又は $-NR_{13}'R_{14}'$ であることができ、ここで $R_{12}'$ 、 $R_{13}'$ 及び $R_{14}'$ は、 $C_1 \sim C_{25}$ アルキル、 $C_5 \sim C_{12}$ シクロアルキル、 $C_6 \sim C_{24}$ アリール、又は飽和若しくは不飽和の環原子5~7個を含む複素環式基(この環は、炭素原子並びに窒素、酸素及び硫黄からなる群より選択されるヘテロ原子1~3個からなる)を意味し、ここでアリール基及び複素環式基は、 $C_1 \sim C_8$ アルキル又は $C_1 \sim C_8$ アルコキシで1~3回置換されていてよく、あるいは $-NR_8'R_9'$ は、5員又は6員の複素環式基(ここでは $R_8'$ と $R_9'$ とは一緒になって、テトラメチレン、ペンタメチレン、 $-CH_2-CH_2-O-CH_2-CH_2-$ 、又は $-CH_2-CH_2-NR_5-CH_2-CH_2-$ 、好ましくは $-CH_2-CH_2-O-CH_2-CH_2-$ を意味する)を意味し、そして $n'$ は、0、1、2又は3を意味する]

で表される蛍光性ジケトピロロピロール(DPP)に関するものである。このDPP化合

物は、インキ、着色剤、コーティング材用の顔料着色されたプラスチック、非衝撃式印刷材料、カラーフィルター、化粧品の製造のために、又はポリマーインキ粒子、トナー、色素レーザー及びエレクトロルミネセンスデバイスの製造のために使用することができる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

[式中、 $R^5$ 、 $R^6$ 、 $R^7$ は、互いに独立して、水素、 $C_1 \sim C_{25}$ アルキル、 $C_1 \sim C_{25}$ アルコキシ、 $-CR^{11}R^{12}-(CH_2)_m-A^5$ 、シアノ、ハロゲン、 $-OR^{10}$ 、 $-S(O)_p$ 、 $R^{13}$ 、又はフェニル( $C_1 \sim C_8$ アルキル又は $C_1 \sim C_8$ アルコキシで1～3回置換されていてよい)を意味し、ここで $R^{10}$ は、 $C_6 \sim C_{24}$ アリール、又は飽和若しくは不飽和の環原子5～7個を含む複素環式基(この環は、炭素原子並びに、窒素、酸素及び硫黄からなる群より選択されるヘテロ原子1～3個からなる)を意味し、 $R^{13}$ は、 $C_1 \sim C_{25}$ アルキル、 $C_5 \sim C_{12}$ シクロアルキル、 $-CR^{11}R^{12}-(CH_2)_m-Ph$ を意味し、 $R^{15}$ は、 $C_6 \sim C_{24}$ アリールを意味し、 $p$ は、0、1、2又は3を意味し、そして $n$ は、0、1、2、3又は4を意味する)

を意味しており、

$A^3$ 及び $A^4$ は、互いに独立して、

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0063

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0063】

を意味する場合、 $R^5$ 、 $R^6$ 及び $R^7$ は、互いに独立して、水素、 $C_1 \sim C_8$ アルキル、 $C_1 \sim C_8$ アルコキシ、 $-CR^{11}R^{12}-(CH_2)_m-A^5$ 、シアノ、クロロ、 $-OR^{10}$ 、又はフェニル( $C_1 \sim C_8$ アルキル若しくは $C_1 \sim C_8$ アルコキシで1～3回置換されていてよい)(ここで $R^{10}$ は、 $C_6 \sim C_{24}$ アリール、例えば、フェニル、1-ナフチル又は2-ナフチルを意味し、 $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、水素又は $C_1 \sim C_4$ アルキルであり、 $m$ は、0又は1であり、 $A^5$ は、フェニル、1-ナフチル又は2-ナフチルである)を意味し、そしてここでは以下の式の基：

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0083

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0083】

[式中、 $R^5$ 、 $R^6$ 、 $R^7$ は、互いに独立して、水素、 $C_1 \sim C_8$ アルキル、 $C_1 \sim C_8$ アルコキシ、 $-CR^{11}R^{12}-(CH_2)_m-A^5$ 、シアノ、クロロ、 $-OR^{10}$ 、又は $C_1 \sim C_8$ アルキル若しくは $C_1 \sim C_8$ アルコキシで1～3回置換されていてよいフェニルを意味し(ここで $R^{10}$ は、 $C_6 \sim C_{24}$ アリール、例えば、フェニル、1-ナフチル又は2-ナフチルを意味し、 $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、水素又は $C_1 \sim C_4$ アルキルであり、 $m$ は、0又は1であり、 $A^5$ は、フェニル、1-ナフチル又は2-ナフチルである)、 $R^8$ 及び $R^9$ は、互いに独立して、水素、 $C_1 \sim C_8$ アルキル、 $C_5 \sim C_{12}$ シクロアルキル、特にシクロヘキシル、 $-CR^{11}R^{12}-(CH_2)_m-A^5$ 、 $C_6 \sim C_{24}$ アリール、例えば、フェニル、1-ナフチル、2-ナフチル、4-ビフェニル、フェナントリル、テルフェニル、ピレニル、2-若しくは9-フルオレニル又はアントラセニル、好ましくは $C_6 \sim C_{12}$ アリール、例えば、フェニル、1-ナフチル、2-ナフチル、4-ビフェニルで、非置換でも、又は置換されていて

よく、特に A<sup>1</sup>、あるいは飽和若しくは不飽和の環原子 5 ~ 7 個を含む複素環式基（この環は、炭素原子並びに、窒素、酸素及び硫黄からなる群より選択されるヘテロ原子 1 ~ 3 個からなる）を意味する ] を意味する。